

「東北歴史まちづくりサミット2016 in 白河」

が開催されました。

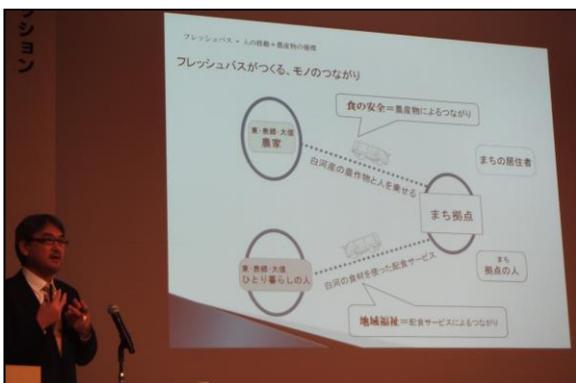
平成28年11月10日(木)～11日(金)白河文化交流館(コミネス)にて、国土交通省東北地方整備局・白河市主催の「東北歴史まちづくりサミット2016 in 白河」が開催されました。

前回のサミットは平成26年度に弘前市で開催され、東北で2番目となる今回のサミットには、東北各地から215名(当日参加を除く)が参加しました。



歴史まちづくり法は、平成20年11月に施行され、それに基づく歴史的風致維持向上計画の認定地区は今年10月時点で全国59地区となっています。計画の重点区域内においては、「街なみ環境整備事業」や「都市再生整備計画事業」等の支援措置を活用することができ、地域資源の発掘による外国人観光客数の増加や住民・企業の景観への意識の高まりなどの効果が現れています。

東北では、県内の白河市、国見町、磐梯町、桑折町の4市町を含む7市町が認定都市となっています。開催地の鈴木和夫白河市長をはじめとした各認定地区の首長等によるパネルディスカッションでは、宮城大学の舟引敏明教授をコーディネーターとして、各地区の取り組み事例と今後の歴史まちづくりの意気込みについて、興味深いお話しを伺うことができました。



早稲田大学の有賀隆教授より、「人々の移動・流動が創り出す交流社会において歴史まちづくりが考えるべきこと」と題して基調講演がおこなわれました。



11日の現地視察では、小峰城跡地や旧脇本陣柳屋旅館などの歴史的風致形成建造物等、白河市の歴史まちづくり事業について視察しました。

都市再生整備計画事業事例紹介～柳津地区（柳津町）～

柳津町が都市再生整備計画事業により整備を行っていた「柳津町観光案内所」が、9月17日リニューアルオープンしました。新しくなった観光案内所からは、只見川の雄大な景色を一望することができます。



柳津町は、平成23年度から平成27年度において、都市再生整備計画事業を活用したまちづくり事業を行ってきました。観光案内所のリニューアル事業のほか、道路改修や公園整備等が行われました。整備によって装いを新たにした柳津地区を訪れ、毎年1月に七日堂裸詣りが行われる福満虚空蔵菩薩圓蔵寺や情緒豊かな柳津温泉、西山温泉の観光など、「赤べこ発祥の地」柳津町の魅力を再発見してみたいかがでしょうか。



公園整備
(旧旅館の解体)



橋梁改修
(清姫橋)



道路改修
(現道拡幅)



札幌市のまちづくりについて 北海道・東北ブロック都市再生整備計画研究会 現地視察

平成28年度の北海道・東北ブロック都市再生整備計画研究会が、北海道札幌市にて10月6日（木）～10月7日（金）に開催され、札幌市内まちづくりを視察しましたのでご紹介します。

■駅前通のオープンカフェ「大通すわろうテラス」 (都市再生整備計画を活用した官民連携事業)

札幌市より『都市再生整備推進法人』*1の指定を受けた「大通まちづくり株式会社」が都市再生性特別措置法に基づく『道路占有許可の特例制度』*2を活用し、歩道上に「大通すわろうテラス」を整備しました。

オープンカフェ事業等による、にぎわいの創出、交流及び休憩機能の向上を図るとともに、収入事業で得られた利益を全てまちづくり事業に還元し、美化清掃活動やサイクルシェアリング等の維持・向上活動に活用されるなど、官民連携のまちづくりが進められています。



- ※1 まちづくり会社やNPO等に法的な位置付けを与え、優良なまちづくりの担い手の積極的な活用を図る制度。市町村に対し都市再生整備計画の提案することができるほか、国や民間機構による支援を受けられるなどのメリットがあります。
- ※2 道路占有許可において、まちのにぎわい創出や道路利用者等の利便の増進に資する施設について、都市再生整備計画に位置づける等の一定の条件の下で無余地性の基準を緩和できることとした制度。

(参考 国土交通省 HP : http://www.mlit.go.jp/toshi/toshi_machi_tk_000047.html)

■大通交流拠点地下広場整備事業 (広場等を都市再生整備計画事業で整備)

地下鉄南北線大通駅を中心とする地下歩行空間と建物地下階が一体となる広場空間を形成するため、官民共働で整備が進められています。

コンコース内に点在していた行政サービス施設や民間テナント施設をそれぞれ集約させるとともに、休憩や交流のための滞留空間スペースを整備することで、地域の賑わい向上と観光客等への利便性を高め、中心広場として誰もが利用しやすい施設となっています。

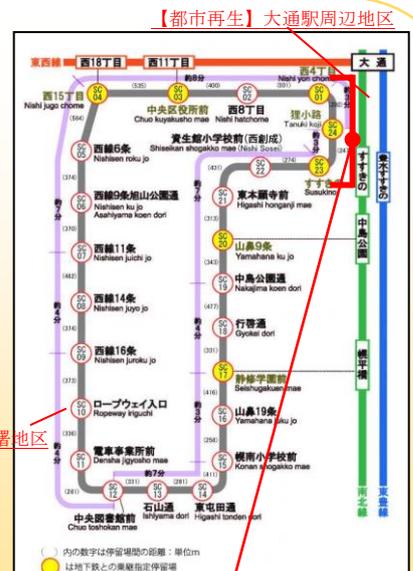


○路面電車ループ化事業 (関連事業)

札幌のにぎわいの軸である駅前通の西4丁目・すすきの間のループ化事業により、路面電車沿線の点在していた観光施設や都市再生整備計画事業の整備地区及び主要駅周辺等への相互アクセスの向上が図られました。

歩道側を走行するサイドリザーベーション方式や低床車両の運行はお年寄りにも乗り降りしやすく、運行情報モニターの整備により利便性の向上が図られています。地域の賑わいが向上し、コンパクトなまちづくりが進められています。

【都市再生】藻岩山・山鼻・曙地区



ループ化事業区間

(路線図出典：札幌市交通局 HP)

「道の駅猪苗代」ができました（猪苗代町）

猪苗代町が猪苗代磐梯高原インターチェンジ近くに整備していた「道の駅猪苗代」が11月19日にオープンしました。

火山噴火や豪雪などの災害へ備えた総合防災拠点としての機能を有し、重点的に国が支援する「重点道の駅」に県内で初めて選定されました。緊急時には避難所、モータープール及び情報発信基地として機能します。



軽食コーナーやお洒落なカフェスタイルのダイニングレストラン、農産物・物産品販売所、道路情報コーナー等が設けられており、オープンの際には、多くの利用者で賑わいをみせていました。（駐車場及び緑地広場は都市再生整備計画事業で整備しています）



土木部メールマガジン登録受付中!!!

土木部メールマガジンでは、土木部の取組みや情報を定期的に発信しています。最新号のメール配信を希望の方は、メルマガ登録をお願いします。

これまでに配信したメールマガジンについては、土木企画課のホームページ（<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41025a/doboku-mm.html>）からご覧いただけます。

メールマガジン（無料）の配信をご希望される方は
【土木部メルマガ希望または、解除】
をお書きのうえ下記アドレスまで
メール送信して下さい。



doboku_mailmagazine@pref.fukushima.lg.jp

土木企画課（システム担当） 024-521-7886

【まちづくり瓦版 発行元】
福島県土木部まちづくり推進課

TEL 024-521-7511
FAX 024-521-7956
e-mail machizukuri@pref.fukushima.lg.jp